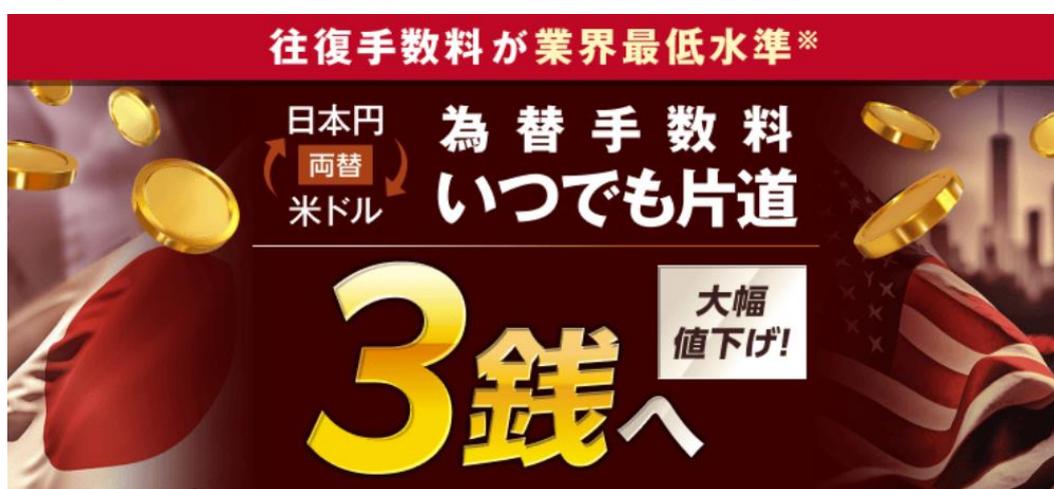


## 楽天証券、米ドル／円の為替手数料を業界最低水準の往復6銭に引下げ！

- いつでも手続きなしで、コストを抑えた米ドル／円の為替取引が可能に -

楽天証券株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：楠 雄治、以下「楽天証券」）は、2023年12月1日（金）国内約定分より、外国為替（リアルタイム為替）取引における「米ドル／円」の為替手数料を、1米ドルあたり片道25銭から3銭に、引き下げることをお知らせします。これにより、「米ドル／円」の往復為替手数料は、いつでも業界最低水準\*の合計6銭となります。



楽天証券は、2023年12月1日（金）国内約定分より、外国為替（リアルタイム為替）取引における「米ドル／円」の為替手数料を、1米ドルあたり片道25銭から3銭に引き下げます。「米ドル／円」の為替手数料を3銭に引き下げることによって、日本円から米ドルへの取引のみならず、その米ドルを日本円に戻すまでを含めた往復の取引が、業界最低水準\*の為替手数料、合計6銭で可能となります。なお、このたびの「米ドル／円」為替手数料の引き下げにより、現在実施している「【実質3銭】米ドル為替手数料キャッシュバックプログラム」は、2023年11月30日（木）をもって終了します。引き下げ後は、エントリーやキャッシュバックを経ることなく、いつでも手続きなしで、為替手数料3銭で取引いただけます。

昨今、米国株式投資への興味・関心の高まりや、米国金利の上昇による米ドル建て債券の利回り上昇により、株式や債券など、米ドル建て商品への注目が高まっています。楽天証券では、2024年から始まる新NISA制度で米国株式（個別株・ADR）や米国ETFの取引（売買）手数料を無料で提供します。加えて、このたびの「米ドル／円」為替手数料を引き下げることによって、さらに多くのお客様に、よりコストを抑えた、米ドル建て商品を活用した資産づくりをおこなっていただける環境を提供します。

楽天証券は、「資産づくりの伴走者」として、お客様のFinancial Well-Beingを最大化するべく、今後も、あらゆるお客様に低コストで魅力的な商品・サービスを提供することで、さらなる顧客基盤の拡大を図るとともに、お客様の投資活動・資産づくりに貢献してまいります。

■外国為替取引「米ドル/円」の為替手数料 主要ネット証券比較 (2023年11月29日時点)

	楽天証券	au カブコム証券	SBI証券	松井証券	マネックス証券
往復手数料	業界最低水準※ <b>6 銭</b>	40 銭*	50 銭**	25 銭	25 銭
買い (日本円→米ドル)	<b>3 銭/ドル</b>	20 銭/ドル*	25 銭/ドル**	0 銭/ドル***	0 銭/ドル***
売り (米ドル→日本円)	<b>3 銭/ドル</b>	20 銭/ドル*	25 銭/ドル**	25 銭/ドル	25 銭/ドル

\*米国株式取引における外国為替取引の手数料 (為替スプレッド) の場合

\*\*住信 SBI ネット銀行経由の場合、片道 12 銭

\*\*\*プログラム期間中

※：主要ネット証券 (口座数上位 5 社：au カブコム証券、SBI証券、松井証券、マネックス証券、楽天証券 (五十音順)) で比較 (2023年11月29日、楽天証券調べ)

以上

【手数料等およびリスクの説明について】

楽天証券の取扱商品等にご投資いただく際には、各商品等に所定の手数料や諸経費等をご負担いただく場合があります。また、各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。各商品等へのご投資にかかる手数料等およびリスクについては、楽天証券ホームページの「投資にかかる手数料等およびリスク」ページに記載されている内容や契約締結前交付書面等をよくお読みになり、内容について十分にご理解ください。

商号等：楽天証券株式会社 (楽天証券ホームページ)

金融商品取引業者：関東財務局長 (金商) 第 195 号、商品先物取引業者

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、日本商品先物取引協会  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会